令和８年度 高知県立高知国際中学校・高等学校 公開授業研究会

研究テーマ
０から１を創造できるグローバル・イノベーション・リーダーの育成
当たり前を疑いなぜを探究する授業づくり～概念でつながる～

本校は、国際バカロレア（ＩＢ）の「学び方を学ぶ」という考え方を全課程、教科、科目の授業に取り入れ、生徒が生涯にわたって学び続けることができる力を養っています。さらに、昨年度からはスーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）の指定校として、さらなる探究力の育成を図っております。そのための教員研修の一環として、本年度は上のテーマで年間を通した授業改善サイクルをまわす教科別研修会を行っております。

本研究会は、この研修会の一つに位置づけており、公開授業を通して本年度のこれまでの研究をふり返り、来年度に向けての授業改善の方向性を探ることを目的として実施します。皆様には本校のこれまでの研究成果とともに授業研究の一端をご覧いただければ幸いです。

１　開催日時　　令和８年 12 月 11 日（金）　13:05～17:00
２　開催場所　　高知県立高知国際中学校・高等学校
　　（ランチルーム、各教室、グラウンド・体育館アリーナ）
３　参加対象者 県内外の教育関係者
４　内　　容

12:15	13:05	13:50	14:00	14:50	15:00	15:20	15:30	16:30	16:45	17:00
受付 ポスター発表	開会 全体会	移動	公開授業	休憩	研究協議Ⅰ 生徒と振り返り	休憩	研究協議Ⅱ 教員のみ		講評	閉会

①　ポスター発表
　本校生徒による学習成果のポスター発表。
②　全体会
・本校の取り組み説明
・基調講演　講師：関西学院大学　教授　　時任 隼平　氏
　演題「他校の授業研究から何を学び所属校で何を生かすのか」
③　公開授業
　本校は中高一貫教育校で、中学校は１学年 3 クラス、高等学校は 7 クラスが設置されています。高校には、普通科 5 クラスとグローバル科（G 科）2 クラスが設置されており、高知国際中学校の卒業生は G 科への入学となります。また、G 科は探究コー

スと DP（ディプロマプログラム）コースの 2 コースがあります。

今年度の公開授業はすべて高等学校での実施となっております。実施内容については、別紙を参照してください。

④　研究協議 I

公開授業に参加した生徒との意見交換。

生徒の視点から本校の授業及び教育活動についてご理解いただきます。

⑤　研究協議 II

本校のこれまでの取組及び本時の授業についての協議。

助言者からの講評をいただきます。

5　参加申し込み

申し込み締め切りは 11 月 24 日（火）です。二次元コードもしくは下記の URL より申し込みをしてください。@kochinet.ed.jp のドメインの許可を事前にしておいてください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeML1oplqgrfQgTjGKdryY_Lgmz_qfXx3g7s1vNAejj3rv5vA/viewform?usp=sharing&ouid=106951673028277238648

6 その他

・駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
・お車でお越しの場合には、所属ごとに乗り合わせの上、お越しください。
・近隣の店舗への駐車は、絶対にしないでください。

［担　当］
高知県立高知国際高等学校
土居　理恵　（高知国際高等学校教諭）
高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 70 号
mail:　rie5592@g.kochinet.ed.jp
TEL: 088-844-1221

研究授業一覧

国語	**授業者名／クラス**	長尾　佑加	1-1H （普通科・全員）
	授業内容	単元名：作品から喚起されるイメージを伝え合う 授業内容：「月」を扱った複数の作品の鑑賞を行い、探究の問い「時代によってそのものがもつイメージはどのように変化するのか。」について考える。	
	研究テーマ	転移の場面を設定し、当たり前を問い直す学びを通して、学びのつながりを主体的に見いだそうとする姿勢を育む。	
	場所	1-1H 教室	
	助言者	高等学校課　チーフ　戸田　泰介　氏	
地歴公民	**授業者名／クラス**	水津　竜也	1-6H （G 科・探究コース）
	授業内容	単元：人々は、なぜ戦争をするのか？ 授業内容：戦争の原因比較	
	研究テーマ	「概念」や単元の本質に迫る「中心的な問い」を軸に、個別の事実や事象を比較・関連付けさせる授業を教員が展開できれば、生徒は知識を断片的な記憶に留めず、時代や地域を超えたつながりを見いだす「概念的理解」を導くことができるのではないか。	
	場所	1-6H 教室	
	助言者	高知県教育センター　指導主事　久保　五月　氏	
数学	**授業者名／クラス**	宇賀　義幸	1-5H （普通科・全員）
	授業内容	統計的な推測	
	研究テーマ	異なる分野の数学的な見方・考え方を概念として統合することで、なじみのない状況においても課題を解決する見方ができるようになる。	
	場所	プレゼンルーム	
	助言者	文部科学省　国立教育政策研究所 教育課程調査官　小林　廉　氏	

理科	**授業者名／クラス**	湯田平　伸也	2-6H （G 科・探究コース）
	授業内容	生物の多様性と生態系・植生と遷移／植生とその環境	
	研究テーマ	単元と概念を連結し、問いに「余白」を設けることで、新たな問いが誘発され、概念の理解を深化させていく。	
	場所	生物室	
	助言者	高等学校課　授業改善アドバイザー　安藤　千速　氏	
英語	**授業者名／クラス**	クリス・ライオンズ、 森澤　希和、本山　大地	1-2H・3H （普通科・全員）
	授業内容	The Picture of Dorian Gray	
	研究テーマ	Conceptualizing Independence: Using independent study to unlock personal learner experiences. 自律的学びの概念化：自律的探究学習を通して、学習者一人ひとりの経験と主体性を切り拓く。	
	場所	1-2H 教室～1-4H 教室	
	助言者	高知工科大学　教授　長﨑　政浩　氏	
保健体育	**授業者名／クラス**	武内　利訓	1-4H （普通科・全員）
	授業内容	陸上競技（長距離走）	
	研究テーマ	『システム（環境）』において、身体の『機能』を理解し、エネルギー消費を抑える動きへと『適応』させることは、持続可能なパフォーマンス（生存・移動）を創造する。	
	場所	晴：グラウンド／雨：アリーナ 研究協議：Ｓ23 教室	
	助言者	高知県教育センター　指導主事　川島　浩輔　氏	

芸術	**授業者名／クラス**	西森　舞	2-6H （G 科・DP コース）
	授業内容	ＡＩアートの創造性とは。 作品概念の質とは何を指すのか？	
	研究テーマ	芸術における「当たり前」を概念として捉え直し、問いと分析を通して創造の本質を探究することで、個人の表現に新たな価値を生み出す。	
	場所	美術室	
	助言者	高知県教育センター　指導主事　駄場　友和　氏	
デザイン（家庭科）	**授業者名／クラス**	前野　佐希子	1-7H （G 科・全員）
	授業内容	消費生活を生きる ～理想のクリスマスケーキって、どんなものだろう？～	
	研究テーマ	生活の『当たり前』を疑い、科学と技術で０から１のウェルビーイングを創出する。	
	場所	1-7H 教室	
	助言者	高知大学　名誉教授　小島　郷子　氏	
情報	**授業者名／クラス**	諏訪　敏樹	2-1H （普通科・全員）
	授業内容	情報通信ネットワークや情報システムの仕組みを理解し，情報セキュリティとはなにか。	
	研究テーマ	データサイエンスの基礎基本を理解し、探究課題に対して正しい分析方法やデータのとり方などを学び、その力を通して探究課題の課題解決につなげる。	
	場所	ICT2 教室	
	助言者	高等学校課　指導主事　小黒　拓　氏	